

## 「損保質権帳票作成ツール」の提供開始 ～金融機関等と損害保険会社の事務を効率化～

一般社団法人 日本損害保険協会（会長：新納 啓介）では、金融機関等の質権者さま向けに「損保質権帳票作成ツール」の提供を開始しました。

住宅ローン等の借入金の担保として、質権者さまが債務者（火災保険等の被保険者等）の保険金請求権に対して質権を設定する場合、質権者さまと損害保険会社では「質権設定承認請求書」等の帳票を用いた手続きを行っています。

従来、損害保険会社ごとにレイアウトや記入要領の異なる質権関連帳票を作成・提供していたため、質権者さまには帳票の使い分け・取寄せ負荷や、記入誤りによる不備対応等の負荷が発生していました。また、質権者さまが独自の帳票を使用する場合は、損害保険会社の審査事務等が煩雑となり、承認および保険金支払いに時間を要するケースも発生していました。

「損保質権帳票作成ツール」は、このような質権者さまと損害保険会社の課題を解決するため、当協会と損害保険会社の質権関連帳票をとりまとめ、レイアウト、記入項目、記入要領を統一した「損保質権帳票」を作成できる Excel ツールです。

「損保質権帳票作成ツール」1つで、参画保険会社（16社）の質権関連帳票を最大7種類作成できるため、質権者さまの事務効率化に繋がるほか、「損保質権帳票」を広くご使用いただくことで損害保険会社の審査が迅速化し、早期承認・契約計上および早期の保険金支払いに繋がります。このツールは当協会ホームページに掲載しておりますので、質権者さまはいつでも最新の帳票を入手いただけます。

当協会では、質権者さまに「損保質権帳票作成ツール」をご使用いただけるよう、周知を図っていきます。質権者さまにおかれましては、ぜひご使用をお願いします。

【ご参考】「損保質権帳票作成ツール」提供ページ

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/shichiken-chohyo/index.html>